

職務経歴書

令和2年2月12日

堀江 直仁

1. 略歴

東京工芸大学、東京写真専門学校卒業後、撮影スタジオでアシスタント経験後、ファッション写真、建築写真、広告写真の撮影に携わってきました。その後広告制作会社で、プロデューサーを経験し、大手広告代理店に勤務（出向）し、広告制作のプロデュースに関わる仕事をしてまいりました。紙媒体からWebまでの広告に関する企画制作業、イベントの企画制作運営などをおこなってまいりました。

平成9年からは、地域コミュニティづくり、まちづくりなどに関わり平成11年にNPO団体を設立し、地域サイトの運営やコミュニティカフェの運営、行政、企業のwebサイトの制作、広報活動の支援などを行っていました。メンバーにデザイナー、コピーライター、アーティスト、建築家、IT関係者が多く所属し行政等のITコンサル、広報のコンサル、まちづくり事業、イベント企画制作を手がけました。

上記のような縁で長岡市おぐに森林公園の活性化のため平成29年よりイベントプロデュースを承り、本年3月に一定の成果（キャンプ利用者300%UP）を得て契約を終了しました。

現在は、一般社団法人森の演出家協会新潟支部を立ち上げ越後丘陵公園などでキャンプイベントやワークショップを企画運営しています。

2. 職務経歴

期間	職務内容	成果・実績・経験
昭和59年4月～ 昭和63年3月	写真撮影に関わる業務、ファッション写真、雑誌等の撮影、建築写真、広告写真、商品写真など	撮影スタジオにてアシスタントを経験、昼夜過酷な労働時間に耐え忍ぶ日々を経験。ファッション雑誌等の撮影で人物写真の撮影を経験。 建築写真撮影を経験。広告制作会社の写真部で大手企業の広告写真を人物撮影から商品撮影まで経験。
昭和63年4月～ 平成11年7月	キヤノン販売の広告制作の制作進行 キヤノンゼロワンショップの全国出店の広告 宣伝ツール全般のプロデュース業務	広告制作に関するノウハウとコミュニケーション能力を養うことができました。クライアント、制作チーム、営業社員とのチームワークでのしごとで多くのよい作品をつくることができました。
平成11年9月～ 現在	まちづくり、NPOの広報支援、行政のIT支援	武蔵野市の初のホームページを制作 コミュニティーセンター20箇所でのパソコン学習会を開催、 コミュニティーカフェを運営、吉祥寺の本「きちぼん」を発行、 武蔵野市と小国町の交流イベントを企画運営など 成蹊大学でメディアリテラシー実習を担当
平成14年7月～ 平成29年10月	Web制作、Webシステムの開発	CMSでのweb制作業務を確立し、WebサイトのリニューアルにMTやWordPressを活用し業績を上げた
平成29年10月～ 平成31年3月	公園管理、イベントプロデュース	経営が悪化していた公園の集客を拡大することができた。 前年比300%のキャンプ客を公園Webサイトのリニューアルとイベント企画運営を行うことで達成できた。

3. 職業訓練内容

・受講済み：金属加工の基本、炭酸ガスアーク溶接作業、被膜アーク溶接作業、TIG薄板溶接、機械板金

4. 自己PR

・なぜ長岡にいるのか。

生まれは、福岡県です。博多もんです。が高校までしかいません。中州の飲み屋街は全く知りません。大学からは神奈川や東京で生活をしていました。2016年（平成28）11月から長岡市小国町に在住しています。

2008年（平成20）ごろ武蔵野市吉祥寺でNPO法人KISS(<http://kiss.or.jp>)が運営しているたまり場的なカフェKISSCAFEに長岡市の「山の暮らし再生機構」から中越地震の復興支援のお礼のイベントを吉祥寺で行いたい（震災当時は武蔵野市と小国町が友好都市であったため）趣旨の依頼を受け、2009年（平成21）「小国Week in 吉祥寺」を開催しました。その後も小国町と友好都市長岡小国交流事業や小国町桐沢集落復興デザイン策定、防災グリーンツーリズム事業などのお仕事が続き、小国町との交流が生まれました。小国町への拠点を考えるところ空き家があることわかり移り住みました。小国町の生産組合の方達とはお米の商品開発をしました。集落ごとのお米をペットボトルに詰めた商品です。（<http://www.oguni.club>）2017年（平成29）からは「おぐに森林公園」の活性化のお手伝いをして、webサイトの改修やイベントの企画などを行い前年比300%を達成することができました。長岡での人脈も増え、昨年4月からは「一般社団法人 森の演出家協会長岡支部」の立ち上げに関わり長岡の森をもり上げる為に越後丘陵公園でキャンプイベントや森林セラピーのワークショップなどを開催しています。（<https://mori-pro.wixsite.com/nagaoka>）
雪と米と花火と森とものづくりの長岡にある資産を繋いでもっとこの地域を盛り上げることができればと思います。

・新しいモノやシステムを考えたり、企画したり、創ることが大好きです。

広告やWeb、イベントの企画など新しい発想を考えるプロデュース業をやってきました。NPOでも人が集まる場所作りとして、コミュニティカフェの運営をし、幅広い業種の人たちと新しいコト生み出しました。「きちぼん」（<https://www.amazon.co.jp/dp/4899771592>）という吉祥寺の本を発行したり、2000年ごろ20箇所のコミュニティーセンターで高齢者向けのパソコン学習会を行政と開催しました。趣味では、ママチャリを再生して乗りやすくしたり快適に走れるようにして自転車のリサイクルを色々研究しています。

（<https://www.rebirthbike.com>）不法駐輪の自転車をレンタサイクルにできないか考えています。その延長で鉄やアルミの加工に興味をもち、ポリテックセンター新潟で金属加工の勉強をして溶接の資格を取りました。自作の薪ストーブなどを作って見たいと思っています。

・なぜ貴社に応募したか

面白いコトを面白い仲間としたい。面白いコトで地域を活性化させられるような社会起業家が生まれる、そんな地方都市になればいいなど、いつも考えています。長岡にある地域資本をもっと活用し連携して長岡をもっと活性化させたい。長岡だけではなく新潟全体に目を向けたシティプロモーションを手がけたいと思っています。地域（地方）には地域（地方）の人が気づいていない（気づいていても目を向けない）資源、資本がいっぱい眠っています。それに気づいてもらい「めんどくさい」と思わずに市民や行政、企業、大学などが連携して社会問題を解決するための起業を目指すことが地方の活性化につながるのだと考えます。これらを繋ぐ手段の一つとして情報誌の役割は重要だと思います。情報と情報を繋ぐ役割、モノとコト、ヒトとヒトをつなぐ役割を貴社で実現できると感じ応募しました。

以上